

健康経営への取り組み

伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社

健康経営宣言・組織図

<健康経営宣言>

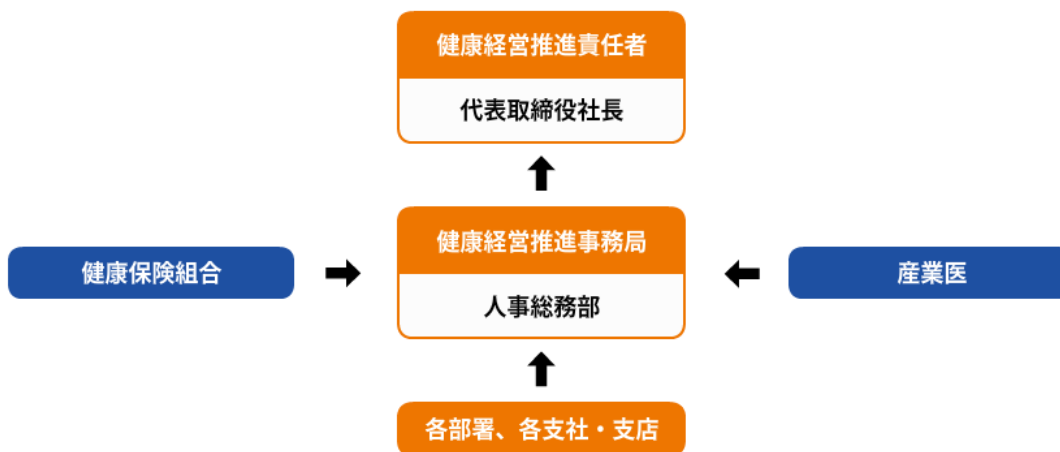
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社は、社員の健康が会社の未来を切り拓く原動力であるという考えの下、社員一人ひとりが健康でいきいきと働き続けられる職場環境づくりに取り組みます。

伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社
代表取締役社長 平川 隆義

<健康経営組織図>

当社では、代表取締役社長を健康経営推進責任者とし、人事総務部を健康経営推進事務局に位置づけています。

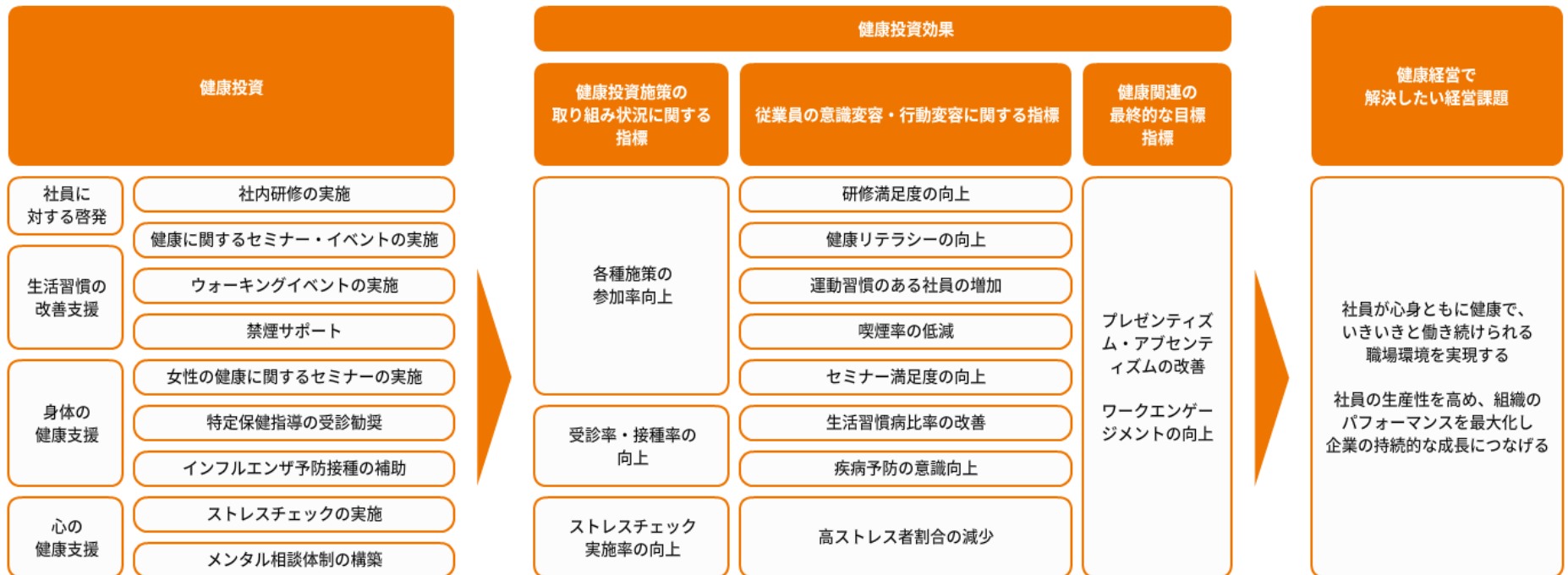
各部門と連携しながら、社員の健康保持・増進に向けた取り組みを推進しています。



健康経営戦略マップ

<健康経営戦略マップ（作成年：2025年4月1日）>

健康経営で取り組む課題と期待する効果について、戦略マップを作成しています



<推進計画・KPI>

健康経営の取り組みを効果的かつ継続的に推進するため、重点施策ごとに目標およびKPIを設定しています。取組状況や成果を可視化し、PDCAサイクルを回しながら健康課題の解決に向けた施策を推進しています。

区分	KPI	目標値
健康状態・疾病予防	健康診断受診率	100%
	再検査・精密検査受診率	100%
	特定保健指導実施率	100%
	血圧・血糖・脂質有所見者率	前年比改善
健康行動・意識	健康促進イベント参加率	前年比向上
	健康意識行動率※	前年比向上
メンタルヘルス・職場環境	プレゼンティーズム・アブセンティーズム	前年比改善
	ワークエンゲージメント	前年比向上

※年1回の健康意識調査において計測している、自分の身体や健康のために何らかの取り組みを実施している社員の割合

<社外からの顕彰>

当社の健康経営に対する取り組みが評価され、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。

あわせて、従業員の運動習慣の定着や健康増進に向けた取り組みが評価され、スポーツ庁が認定する「スポーツエールカンパニー2026」にも認定されました。



■ 2025年度の主な取り組み

＜身体の健康支援に関する取組＞

定期健康診断の実施に加え、健康診断の結果、再検査や精密検査が必要となった従業員への受診費用補助を行い、疾病の早期発見・早期治療を支援しています。

また、健康保険組合と連携し、禁煙支援プログラムの提供や生活習慣改善に関する情報提供を行うことで、喫煙率の低減や生活習慣病の予防に取り組んでいます。

さらに、運動習慣の定着を目的としたウォーキングイベントを毎年開催し、従業員の健康維持・増進を推進しています。

2025年度ウォーキングイベント

概要：2023年より毎年11月に実施

チーム戦と個人戦で平均歩数の順位をアプリ上に表示して競うコンペ形式

上位チーム・個人と一日の平均歩数8,000歩以上を達成した対象者に賞品を贈呈

結果：全社員を対象に開催

46チーム、405名が参加

1日の平均歩数は11,762歩

効果：直近の健康意識調査では、歩行不足を感じる社員は48.8%と、ウォーキングイベント開催前の2022年度から11.2ポイント改善

社内コミュニケーション活性化の一助となっており、毎年恒例の社内イベントとして定着

■ 2025年度の主な取り組み

<心の健康支援に関する取組>

ストレスチェックを毎年実施するとともに、組織分析結果を各部門へフィードバックし、職場環境の改善に活用しています。また、外部カウンセリングサービスを提供し、従業員が安心して相談できる体制を整備しています。さらに、セルフケアやラインケアをテーマとしたメンタルヘルスケア研修を実施し、メンタルヘルス不調の予防と、安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。

2025年度若手社員向けセルフケア研修

概要：若手社員を対象にセルフケア研修を実施

<ヘルスリテラシーの向上に向けた取組>

従業員一人ひとりが健康について正しい知識を身に付け、自ら健康づくりに取り組めるよう、健康に関する情報を定期的に発信するとともに、健康課題に応じたセミナーを実施しています。睡眠や女性の健康をテーマとしたセミナーを通じて、ヘルスリテラシー向上と健康意識の醸成を図っています。

2025年度ヘルスリテラシー向上セミナー

概要：ヘルスリテラシーの向上を目的として2025年度より実施
2025年度は「睡眠」をテーマに全社員を対象に実施

■ 2025年度の主な取り組み

＜仕事と育児・介護の両立支援に関する取組＞

【育児】

育児と仕事の両立支援ハンドブックを策定し、制度の周知と利用促進に取り組んでいます。
また、ライン管理職を対象としたイクボス研修を実施し、育児と仕事を両立しやすい職場環境づくりを推進しています。

2025年度イクボス研修

概要：育児と仕事の両立支援を目的として、ライン管理職を対象にイクボス研修を実施

【介護】

介護と仕事の両立支援ハンドブックを策定するとともに、外部相談窓口の設置や介護セミナーの開催を通じて、従業員が安心して介護と仕事を両立できるよう支援しています。

介護相談窓口の導入

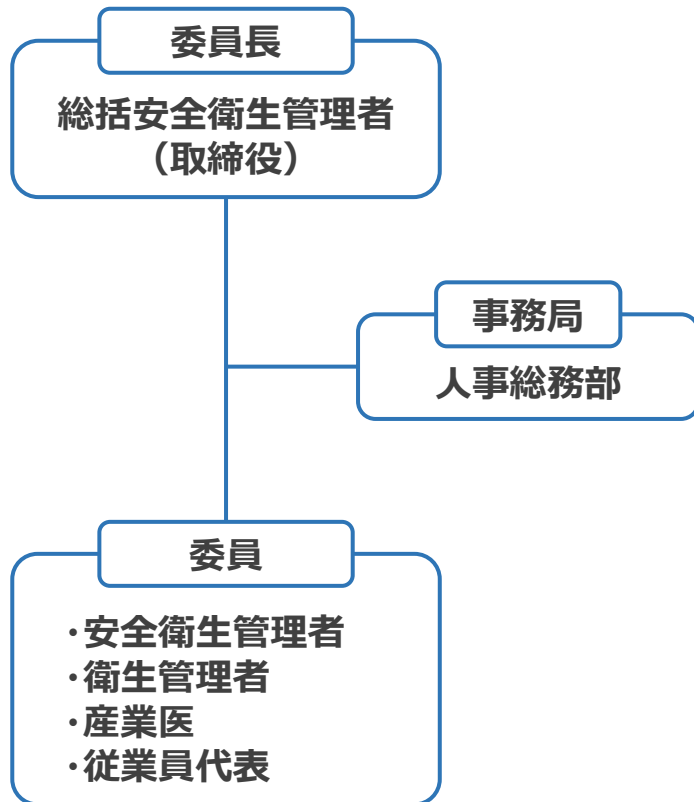
概要：仕事と介護を両立できる環境を整備するため、2025年度より外部の専門相談窓口を導入

■ 社内の連携体制（安全衛生委員会）

< 社内の連携体制について（安全衛生委員会） >

安全衛生委員会では各部署の代表者や従業員組合が出席し、健康経営や労働安全衛生をはじめとする議題および施策について協議しています。

【安全衛生委員会 体制図】



【主な議題】

- ・労働災害発生状況
- ・長時間労働の発生状況
- ・ストレスチェック結果
- ・健康経営施策

健康に関する定量データ

項目	2024年度	2025年度
健康診断受診率	100.0%	100.0%
有所見率（血圧）	18.4%	18.4%
有所見率（脂質）	32.8%	33.1%
有所見率（血糖）	16.0%	17.2%
特定保健指導実施率	54.0%	集計中
喫煙率	25.7%	27.2%
健康促進イベント参加率 ^{※1}	—	11.3%
運動習慣者率 ^{※2}	24.3%	28.0%
ストレスチェック受検率	98.2%	95.7%
高ストレス者割合	8.7%	11.3%
ワークエンゲージメント ^{※3}	51.0	51.7
平均勤続年数	15.8年	15.3年
年次有給休暇取得率（総取得日数/総付与日数）	70.5%	69.2%
時間外勤務時間	20.1時間	20.5時間
労働災害申請件数	2件	0件

※1 ヘルスリテラシー向上セミナーに参加した社員の割合

※2 「1 回30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施」していると回答した社員の割合

※3 ストレスチェックのワークエンゲージメントに関する設問の偏差値（測定人数 約420名 回答率95.7%）

項目	2026年度
健康意識行動率	72.2%
体調不良による休暇が5日以上の子員の割合（アブゼンティーズム ^{※2} ）	17.2%
直近1ヶ月の健康の自己評価点（プレゼンティーズム ^{※3} ）	77.7点

※1 体調不良による有給休暇の取得日数が5日以上の子員の割合（測定人数 約430名、回答率91%）

※2 SPQ（Single-Item Presenteeism Question東大1項目版）の「病気や怪我がない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください」への回答結果の平均値（測定人数 約430名、回答率91%）